

第20回定期大会を開催!

7月6日、J R 東海労新幹線関西地本は、「大阪市立市民交流センターひがしよどがわ」において第20回定期地本大会を開催しました。

大会は、山口副委員長の司会で始まり、議長団に鈴木代議員（名古屋車両所分会）と森永代議員（車両技術分科会）を選出して議事が進められました。

地本執行委員会を代表して小林委員長より「7月1日に安倍政権は集团的自衛権行使容認の閣議決定を行った。非常に危険な方向へと突き進んでいます。私たちは、この1年間、個人や諸団体、各労組など地域の人達のところへ足を運び”戦争に反対、憲法9条改正に反対”の議論を重ねることで点から線へと連帯の輪を広げてきました。その結果がこの定期大会へのメッセージの数となって現れています。さらに仕業検査車両所分会で新たな仲間を迎え入れることができました。まだまだ「おかしい」「反対」だと感じている人はたくさんいます。闘いの輪を更に広げていこう。そして2年後の”たしろかおる”再選準備に向けた万全な体制をつくっていこう」と力強い挨拶がありました。

その後は、J R 総連萩原副委員長をはじめ、多くの来賓の皆さんから激励・連帯の挨拶をいただきました。

質疑は、「労働審判、本人訴訟」「ボーナスカットと専任V」「職場の安全問題」「たしろかおる再選の準備」「今後の組織体制」などについてすべての代議員から発言がありました。

その後、各部が答弁を行い、畑野書記長より総括答弁の後、大会スローガン（案）、予算（案）、活動方針（案）が満場一致で承認を受け大会は成功裏に終了しました。



一切の戦争政策反対！・解釈改憲を許さず平和を希求する闘いを
 職場・地域から、連帯する仲間と共に創りだそう！

「たしろかおる」再選準備に向けた体制を職場・地域からつくり
 出そう！

「命令と服従」強権的な労務管理を打ち破り、もの言える職場を
 創造し、更なる組織の強化・拡大に邁進しよう！